令和3年度　社会福祉法人岐協福祉会　事業報告

【概　要】

少子高齢社会の一層の進展や人口の減少化に伴い、地域では様々な生活課題が深刻化しています。特に「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には、3人に1人が高齢者となる超高齢社会が予想される中、「人生 100 年時代」が示す超高齢社会が誰にとっても明るく幸せで生きがいをもって暮らし続けられる地域社会の実現が望まれています。

しかしながら、令和3年度は、コロナ禍によって生活が一変いたしました。生活様式、働き方など全てが変わりつつあり、本法人といたしましては、新型コロナウイルス感染症等の感染予防の徹底を図り、質の高い介護・福祉サービスを永続的に維持していく使命を果たさなければならないと考え、次の3つの重点事業を掲げ、地域に信頼される総合福祉施設をめざし各種事業を実施しました。

第1に、地域密着型介護老人福祉施設（ユニット型特養29床）の新設と特別養護老人ホーム大洞岐協苑の増床（20床）が完成し運営を開始いたしました。新施設である「第2大洞岐協苑」は、環境省からの補助金を活用し、「ZEB（ゼブ）」支援事業として、最新の省エネ設備を導入し、CO2 の大幅な削減を実現した利用者の方々にも快適な住環境で過ごしていただける建物として、万が一の災害に備え地域の「福祉避難所」としての機能を果たすことができる安全・安心の最先端の福祉施設であり、既存施設である大洞岐協苑、日野岐協苑とともに確実で安定した経営を目指し努力しました。

第2に、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として、国の指針に基づき、職員が正しい認識を持ち感染対策マニュアル等を参照し感染予防の徹底に努めました。しかしながら、令和4年1月25日に日野岐協苑職員が発症し、その後入所者、職員への感染が拡がりました。日野職員をはじめ他施設からの応援職員による法人組織全体で感染拡大防止に努めましが、2月25日に終息するまでに入所者及び職員併せて52名が感染したことにより、利用者の受入れを制限する事態となりました。

第3に、職員の人材育成・健康管理が重要であることから、職員が安心して希望をもって働くことができる職場環境づくりと人材育成に努め離職防止に繋げるとともに、職員確保策としてハローワーク、人材紹介等を活用したほか特定技能外国人を採用し人材の確保に努めました。

こうした重点事業を中心に各種事業を積極的に取り組むことにより、岐協福祉会の理念に基づき、柔軟に対応できる自律した経営と質の高いサービスが提供できるよう努めました。

【1　法人本部事業】

1　理事会・監事会・評議員会等の開催

改正社会福祉法に準拠し、経営組織のガバナンスの強化を図るとともに、介護保険事業の経営の安定化・適正化及び地域福祉事業の円滑化をめざし、次のとおり、理事会・監事会・評議員会等を開催しました。

(1)理事会

第1回	期日	令和3年4月27日(火) (書面による決議があったものとみなされた日)
	場所	書面による決議
	議案等	○決議があったものとみなされた事項 第1号議案 社会福祉法人岐協福祉会定款の一部変更について 議案の概要 特別養護老人ホーム大洞岐協苑増築並びに地域密着型特別養護老人ホーム第2大洞岐協苑新築に伴い、定款第32条の基本財産を一部変更すること。 第2号議案 評議員会の書面による決議の省略について 議案名 社会福祉法人岐協福祉会定款の一部変更について 議案の概要 特別養護老人ホーム大洞岐協苑増築並びに地域密着型特別養護老人ホーム第2大洞岐協苑新築に伴い、定款第32条の基本財産を一部変更すること。
第2回	期日	令和3年6月14日(月) (書面による決議があったものとみなされた日)
	場所	書面による決議
	議案等	○決議があったものとみなされた事項 第1号議案 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会事業報告について 議案の概要 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会事業報告を承認すること。 第2号議案 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会決算報告について 議案の概要 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会決算報告を承認すること。 第3号議案 監査報告について 第4号議案 次期役員(理事及び監事)候補者の推薦について 議案の概要 次期役員候補者を評議員会に推薦すること。 第5号議案 次期評議員候補者の推薦について 議案の概要 次期役員候補者を評議員選任・解任委員会に推薦すること。 第6号議案 定時評議員会の目的である事項の提案について 議案の概要 定時評議員会の目的である事項の提案を行うこと。 第7号議案 評議員選任・解任委員会の召集について 議案の概要 評議員選任・解任委員会を令和3年6月16日に召集すること。
第3回	期日	令和3年6月28日(月)

	場所	大洞岐協苑　地域交流室
	議案等	第1号議案　理事長の選定について 第2号議案　評議員選任・解任委員会委員の選任について その他
第4回	期日	令和3年10月11日（水）
	場所	第2大洞岐協苑　地域交流室
	議案等	報告事項1　理事長の職務執行状況について 第1号議案　社会福祉法人岐協福祉会パートタイム職員の就業規則の一部改正について 第2号議案　社会福祉法人岐協福祉会育児・介護休業等に関することその他
第5回	期日	令和4年3月30日（水）
	場所	第2大洞岐協苑　地域交流室
	議案等	報告事項1　理事長の職務執行状況について 第1号議案　令和3年度社会福祉法人岐協福祉会資金収支補正予算案について 第2号議案　社会福祉法人岐協福祉会就業規則の一部改正について 第3号議案　社会福祉法人岐協福祉会パートタイム職員の就業規則の一部改正について 第4号議案　社会福祉法人岐協福祉会給与規程の一部改正について 第5号議案　社会福祉法人岐協福祉会給与規程細則の一部改正について 第6号議案　社会福祉法人岐協福祉会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 第7号議案　社会福祉法人岐協福祉会経理規程の一部改正について 第8号議案　令和4年度社会福祉法人岐協福祉会事業計画案について 第9号議案　令和4年度社会福祉法人岐協福祉会資金収支予算案について その他

(2)監事会

第1回	期日	令和3年6月7日（月）
	場所	大洞岐協苑　地域交流室
	議案等	第1号議案　令和2年度社会福祉法人岐協福祉会事業報告について 第2号議案　令和2年度社会福祉法人岐協福祉会決算報告について その他

(3)評議員会

第１回	期日	令和3年5月7日（金） （書面による決議があったものとみなされた日）
	場所	書面による決議
	議案等	○決議があったものとみなされた事項 第1号議案 社会福祉法人岐協福祉会定款の一部変更について 議案の概要 特別養護老人ホーム大洞岐協苑増築並びに地域密着型特別養護老人ホーム第2大洞岐協苑新築に伴い、定款第32条の基本財産を一部変更すること。
定時評議員会	期日	令和3年6月28日（月） （書面による決議があったものとみなされた日）
	場所	書面による決議
	議案等	第1号議案 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会事業報告について 議案の概要 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会事業報告を承認すること。 第2号議案 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会決算報告について 議案の概要 令和2年度社会福祉法人岐協福祉会決算報告を承認すること。 第3号議案 監査報告について 第4号議案 次期役員（理事及び監事）の選任について 議案の概要 次期役員（理事及び監事）を選任すること。

(4)評議員選任・解任委員会

第1回	期日	令和3年6月16日（水）
	場所	大洞岐協苑 会議室
	議案等	第1号議案 社会福祉法人岐協福祉会 次期評議員の選任について

2 会議・委員会等の開催

事業の適正化と事業所間の連携強化のため、次の会議・委員会を開催しました。なお、新型コロナウイルス感染予防対策として、対面方式での会議は極力中止し、必要に応じ、縮小しての開催または書面による回覧方式としました。

会議名称	開催回数	内　　容
事業責任者会議	12回	各々の事業責任者で構成し、理事長出席のもと事業実績報告を踏まえ経営状態を確認し、懸案事項の検討や課題解決のため協議しました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、6月・8月・9月・1月・2月・3月は資料配布のみの対応としました。

全体職員会議	開催なし	新型コロナウイルス感染症予防対策として開催を取りやめ、事業責任者会議の伝達を徹底することで代替えとしました。
広報委員会	2回	広報誌「ほほえみ」を編集し、年2回発行しました。また、ホームページ・ブログの定期更新を管理しました。
安全衛生委員会	5回	職員の健康確保と快適な職場環境づくり、職員の健康管理（感染症予防対策）・労働災害事故・交通事故予防について協議しました。
協力医療機関との連携会議等	必要の都度	入所者・職員の新型コロナウイルスのワクチン接種について打ち合わせ会議を行い、希望者全員が3回のワクチンを接種することができました。また、新型コロナウイルス感染症への感染対策について協議しました。

3 地域連携会議の開催

新型コロナウイルス感染症予防対策として、前年度に引き続き、令和3年度の開催は見合わせることとしました。

4 介護保険事業の経営

介護老人福祉施設（大洞岐協苑、第2大洞岐協苑）、短期入所生活介護（大洞、日野）、通所介護、訪問介護事業、居宅介護支援事業について、「愛情と理解」をもって満足される質の高いサービスの提供に努めました。

地域密着型サービスの認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型生活介護事業及び介護付有料老人ホーム日野岐協苑（地域密着型特定施設入居者生活介護）においても、利用者の心身の状況に応じ、適正な個別サービスの提供に努め、さらなる生活の質の向上を図りました。

介護職員に対する更なる処遇改善として「介護職員等特定処遇改善加算」を引き続き取得するとともに新たに介護職員を対象にベースアップ等の引き上げに使用することを要件とした「介護職員処遇改善支援補助金」を活用し、処遇改善を図りました。

また、医療連携、リハビリテーションの強化、重度化への対応、専門性の確保といった項目での加算体制の拡充を図り、さらに充実したサービスが提供できるよう努めました。

5 地域福祉の機能強化

岐阜市地域包括支援センター東部は、岐阜市から高い事業評価をもらい、令和3年度から新たに3年間受託することとなり、地域福祉の中核としての役割をより一層担っていくため、様々な事業を実施いたしました。

また、市内を3ブロックに分け設置された機能強化型地域包括支援センターのうち、中ブロック（センター8か所）を担当する岐阜市中ブロック機能強化型地域包括支援センターについても令和3年度から新たに3年間受託することとなり、ますます複雑多様化する

課題に対応する地域包括支援センターを支援する役割を担う「強化型」として、地域包括ケアシステムの中核的役割を果たせるよう努力いたしました。

地域福祉活動の拠点としての「大洞岐協苑」及び「第2大洞岐協苑」の地域交流室を活用し、計画的にカルチャースクール等を開催するほか、地域に向け、介護予防教室等の活動等を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い十分な活用には至りませんでした。

また、ボランティアの活動の場として施設への受入れについても同様に、感染予防対策を講じて縮小して受入れることとなりました。

6 経営基盤の強化・資産の管理

基本財産・運用財産及び公益事業財産は、常に安全で効率的な維持管理に努めるとともに、法人及び介護保険事業等の健全な運営を維持するため経営基盤の強化に努めました。

大洞岐協苑では、特養棟が28年、ケアハウス棟が18年経過し建物等の老朽化も目立って来たことから長期計画に沿って利用者の方々が快適に過ごしていただけるよう保守点検を定期的に実施したほか、必要な修繕と施設の維持管理に努めました。

日野岐協苑についても12年度目を迎え保守点検を定期的に実施したほか、建物等にも維持保全が必要になりましたので、その都度対応しました。

さらに共通事項として、介護記録ソフトの運用を推進し、業務の効率化を図ることによる職場環境の改善を行いました。

7 非常災害対策

大洞岐協苑、第2大洞岐協苑及び日野岐協苑においては、土砂災害や河川氾濫に備えた避難確保計画に基づき、利用者の安全を図るため、職員への防災教育の徹底を図るとともに、避難救出訓練を実施しました。また、別に定める防災等管理規程に従って、拠点ごとに地震及び火災を想定した避難救出訓練を年2回実施しました。

大洞岐協苑及び第2大洞岐協苑は地域の福祉避難所としての重要な役割があることから万が一に備え、入所者、地域からの避難者の方が3日間維持できる飲料水、非常食を備蓄しました。

また、新型コロナウイルス感染症等が発生又は蔓延した場合に備え、以下の備品・衛生用品等を備蓄しました。

・陰圧装置一式:7セット
・不織布マスク:49,000 枚・N95 マスク:450 枚・フェイスシールド:1,500 個
・アルコール消毒液:1,700ℓ・プラスチック手袋:52,000 枚・防護服:2,200 枚
・抗原検査キット:200 個・キャップ:800 枚・シューズカバー:4,200 枚
・マウスシールド:60 個

8 職員の健康管理

職員の健康の保持増進を図るとともに疾病の早期発見及びメンタルヘルスの向上に努

めるため、産業医等と連携し以下の対応を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、全職員が毎日定時に検温を行うなど自己の健康管理を徹底しました。

① 定期健康診断　夜間勤務を担当する職員　年2回
　その他の職員（パート・Sパート含む）　年１回
② ストレスチェック　職員、社会保険に加入するパート職員　年１回
③ 定期検便　栄養士　毎月
④ 新型コロナウイルス感染対策
　・ワクチン接種　ほぼ全職員が３回目のワクチン接種済み
　・PCR検査　ほぼ全職員が令和３年５月から令和４年３月の間計９回実施し全員が陰性

９ 岐阜市による指導監査・実地指導

○社会福祉法人指導監査

令和3年11月16日（火）　岐阜市福祉部指導監査課　3名

指示事項①　賃金控除に関する項目が欠落しているので再度締結されたい。

指示事項①に対する措置

賃金から控除している項目を全て明記し、労働者代表と賃金控除に関する協定書を令和4年1月１日付にて再度締結しました。

指示事項②　重要な役割を担う職員の選任について、現在の規定に沿った運用に改めるか、定款等を現在の状況にあった内容に変更するか、法人内で検討し対応されたい。

指示事項②に対する措置

重要な役割を担う職員について、定款施行細則に具体的に規定し、理事会で承認を得ることとしました。

○地域包括支援センター東部及び中ブロック機能強化型地域包括支援センター実施指導

令和3年12月３日（金）　岐阜市福祉部高齢福祉課　2名

指摘事項　特にありませんでした。

【2 特別養護老人ホーム大洞岐協苑事業（定員100人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170100305号

[概　要]

令和2年7月より着工した増床工事が令和3年3月に竣工しました。従来型特養への入所ニーズに応える施設として多床室（2人部屋を10室）を整備し、4月より100床の特別養護老人ホームとして、岐阜市から変更認可を受けました。増床に伴い、エレベーター及び特殊浴槽の増設など設備面もリニューアルされました。また、直接処遇職員の増員に伴う新規職員（ベトナ

ムからの特定技能実習生5名を含む）職員の育成、夜勤体制の増員（4名から5名に）に順応し、事業所内の連携を深めながら増床への対応を進めました。

コロナ禍となり2年が経過し、「with コロナ」が定着した1年となりました。職員及び利用者が「ウイルスを持ち込まない」を念頭におき、徹底した水際対策を継続しました。対面面会の制限期間はあったものの、できる限り家族等との交流機会を確保するようオンライン面会で対応しました。家族等に対し文書及び写真による状況報告や、SNS を活用し写真（動画）を共有するなど、コロナ禍であるからこそ、より家族との繋がりを意識し情報の発信に努めました。

1 重点目標

（1） 令和3年4月に20床が増床され100床となりました。月当たり5名の新規入居者が迎えられるよう準備をすすめ、早期に満床となるよう努め年間利用率85％を達成します。併せて、令和3年度の介護報酬改定において新設された加算の算定に努めます

（2） 感染症予防ならびに多職種連携による健康管理に努め、迅速な対応を実施し、利用者の重度化を予防します。

（3） 経験年数に応じた介護力勉強会（他事業所所属の職員・特定技能外国人等を含む)を開催し、利用者満足度の向上を図ります。

2 重点目標に対する取組み

（1） 入所に関しては、入所待機者に対し速やかに案内し、前半期39名(月平均6．5名)の新規入所者を迎え、9月には100床が満床となりました。年間では54名の新規入所者を迎えましたが、退所者も46名ありました。2月に法人内事業所の新型コロナウイルス感染者の発生に伴い応援職員を派遣したため、やむなく新規入所を見合わせる対応を取りました。その影響や入院により、年間利用率は79．8％と目標を下回りました。

新設された加算の算定は行なえませんでしたが、虐待防止のための対策委員会及び安全対策部門の設置など、法令改正に適切に対応しました。

（2） 感染症予防ならびに多職種連携による健康管理に努め、利用者に対し1日2回の検温を実施した結果、より迅速な体調変化に気付くことができ、早期に医療機関等と連携することにより、利用者の重度化を予防しました。また、流行期には職員を対象とした月2回の PCR 検査（岐阜市主催）を実施し、ウイルスを持ち込み防止に努めました。

（3） 経験年数に応じた介護力勉強会（他事業所所属の職員・特定技能外国人等を含む）の開催を予定していましたが、法人全体で「介護職員スキルアップ研修」を開催したため、特別養護老人ホームとしての介護力勉強会は取りやめました。

3 サービスの実施状況　定員 100 名

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在籍者	86	93	91	94	99	100
新規入所	8	9	2	9	5	6
退所	2	4	5	3	2	5
利用率（%）	72.5	76.3	77.7	80.7	77.5	81.9

項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計(平均)
在籍者	100	100	97	99	94	93	(95.5)
新規入所	2	2	6	3	0	2	54
退所	1	7	3	6	1	7	46
利用率(%)	82.9	85.9	84.0	79.7	80.6	78.3	(79.8)

4 行事活動の状況

新型コロナウイルス感染予防対策により家族や地域の方との接触がある行事や外出する行事、ボランティアを迎えての行事は開催できず、中止としました。コロナ禍でも利用者の生活が少しでも楽しく豊かなものとなるよう、できる限り代替の行事を実施しました。

実施日	行事名	利用者数	備　考
7月28日	鰻の蒲焼きイベント	38名	デモクック
8月26、27日	納涼祭	69名	
9月18日	お彼岸法要	3名	6名の法要
9月20日	敬老会	21名	節目の年　21 名
10月20、27日	運動会	68名	
11 月5日	ブリの解体 SHOW	46名	デモクック
11月18～27日	文化祭(作品展)	60名	作品展示、観賞
12月15日	もちつき大会	67名	
12月24日	クリスマス会	80名	プレゼント:ひざ掛け
2月3日	節分祭		中止
3月18日	お彼岸法要	3名	10名の法要
毎　月	誕生日会	93名	お祝い状とお花を贈呈

〈バイキングの献立内容〉 4 月:にぎり寿司、6 月:朴葉寿司、10 月:五平餅・みたらし団子、3 月:にぎり寿司

〈食事イベント〉 7 月:鰻の炭火焼き、11 月:鰤の解体ショー、12 月:海鮮丼

5 健康管理

新型コロナウイルス感染症予防対策として、毎日2回の検温及び施設内の消毒・換気を行い、感染予防の徹底に努めました。また、流行期においては職員を対象とした月2回の PCR 検査(岐阜市主催)を実施し、ウイルスの持ち込み防止に努めました。

実施日	内容	人数	備考
5 月 12、13 日	新型コロナウイルス予防接種	71 名	1 回目
6 月 2、3日	新型コロナウイルス予防接種	61 名	2 回目
6月 30 日	健康診断	61 名	胸部 X 線など
11 月17日	インフルエンザ予防接種	92 名	
2 月9、10日	新型コロナウイルス予防接種	74 名	3 回目

6 研修

介護職員等の資質の向上を図るため、新型コロナウイルス感染症対応に留意し、必要な研修への参加を行いました。

(1) 苑内研修

オンライン(ZOOM)を活用し、自宅からの参加も可能な体制を作りました。また、勤務都合により参加できない職員に対して、動画視聴をすることでより多くの職員が参加できる体制で実施しました。

実施日	研修テーマ	参加者数	内特養職員
4月 6、7、8 日	新人職員研修	29 名	15 名
4 月 28 日	①法人の理念について ②介護保険改正について	40 名	20 名
6 月 30 日	①食中毒予防　②事故防止(KYT)	46 名	17 名
10 月 6 日	①身体拘束防止　②高齢者虐待防止	43 名	11 名
10 月27日	①感染症予防　②事故防止事例検討	60 名	15 名
11 月 24 日	看取り介護	37名	14 名
3 月 30 日	①身体拘束廃止について ②虐待防止について③看取り実践報告	43 名	20 名

(2) スキルアップ研修

外部講師による、キャリアパスを目的とした介護職員等のスキルアップ研修をオンライン(ZOOM)で開催しました。

実施日	研修テーマ	参加者数	内特養職員
6月 28 日	接遇　社会人マナー	56 名	22 名
7月 27 日		42 名	8 名
8月 23 日	コミュニケーション力	48 名	16 名
9月 27 日		32 名	5 名
10 月 25 日	介護過程と ICF	37 名	14 名
11 月 22 日		18 名	6 名
1月 24 日	認知症の人への介護技術	43 名	20 名
3月 9 日		18 名	8 名
2月 28 日	ボディメカニクス	46 名	6 名
3月 28 日		18 名	11 名

(3) 外部研修　7 名

令和3年度の外部研修は主にオンラインによる開催であったため、受講環境を整えて参加しました。認知症介護基礎研修に職員2名オンラインで参加しました。また BCP(事業継続計画)に関する研修会や、LIFE(科学的介護情報システム)の研修など、介護保険改

正に伴う必要な研修に延べ7名が参加しました。

(4) 勉強会の開催について

① 介護力向上勉強会

平成30年度から開始した介護力向上勉強会を継続して実施する予定でしたが、法人で実施したスキルアップ研修会と内容が重なったため開催は取りやめました。

② 資格取得勉強会

介護福祉士勉強会は1月から2月にかけて計4回、模擬試験のように実施しました。2名の参加があり、1名が合格しました。

7 会議等

事業運営体制の充実と職員間の連携、さらには介護の質向上を目的として、会議及び委員会活動を実施しました。

会議名	開催回数	備考
特養会議	12回	
介護職員会議	12回	
給食委員会	11回	2月は中止
介護力向上委員会	12回	
入所検討委員会	13回	5月、6月は2回開催
事故・身体拘束・虐待防止・感染症対策委員会	12回	虐待防止は今年度より必須
入苑者懇談会	4回	6月・8月・10月・1月
安全対策部門	1回	今年度より必須

8 非常災害対策

利用者の安全を図るため、避難救出訓練を年2回実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
7月　7日	地震及び火災を想定した訓練	100名	
10月13日	土砂災害等を想定した訓練	91名	夜間想定

9 ボランティア等の活動状況(敬称略)

新型コロナウイルス感染症対応により多くのボランティアの受け入れを中止しましたが、ソーシャルディスタンスの確保ができる「生け花」については「まん延防止等」宣言が解除されている期間に受入れを行い、利用者のQOLの向上を図りました。

団体・個人名	活動内容	備　考
協美会	生け花の講師	4月．7月．8月．11月．12月
西本願寺ビハーラ	彼岸法要の読経、講話	9月・3月

10 岐阜市高齢者等緊急一時保護事業(平成30年度から受託した岐阜市の委託事業)

夜間や休日に警察等で保護された高齢者等を一時的に保護し、心身の安全を確保す

る目的にて実施する事業を受託し4年度目となりました。令和3年度は受入れの依頼はありませんでした。

11 建物施設管理

建物施設等は保守点検を定期的に実施し、維持管理に努めました。老朽化による破損等の修繕を実施するほか、令和3年4月より20床増床し、エレベーターも2基に増設し、3か月毎に点検を実施しました。増床に伴い、特殊浴槽1台も新たに導入し、利用者の身体状況に合わせた入浴機器を選択することで、安全に入浴できるようになりました。

12 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均年齢（歳）	85.9	87.3	85.3	85.2	**84.9**
平均要介護度	3.87	3.80	3.70	3.80	**3.62**
利用延べ人数	25,243	25,647	24,367	26,093	**29,137**
1日平均利用者数	69.2	70.3	66.6	71.5	**79.8**
利用率（%）	86.6	87.9	83.2	89.4	**79.8**

【3 特別養護老人ホーム大洞岐協苑短期入所生活介護事業（定員20人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170100305号

[概　要]

在宅介護を続ける介護者の介護負担軽減を主目的とした事業であり、利用者の要介護状態の低下防止と地域の期待や利用ニーズに応えるために、利用者及び介護者が安心して利用できるサービスの提供に努めました。

感染予防対策については、前年度と同じく水際対策に注力した結果、新型コロナウイルス等の持ち込みを防ぐことができました。

1 重点目標

(1) 地域の居宅介護支援事業所への継続的な空所情報の発信と、特別養護老人ホームの空床（入院等）を積極的に活用し、利用率93%を達成します。

(2) 特別養護老人ホームの併設施設であるという特徴を生かし、特養入所までの安定的な生活支援を行います。

(3) 感染症予防に努め、個別ニーズに沿った利用の受入れを行います。

2 重点目標に対する取組み

(1) 地域の居宅介護支援事業所への空床情報を適宜発信した結果、新規の利用者を60名迎えることができました。しかし、併設の特別養護老人ホームが20床増床した影響により、特養の入所待ちをしていた利用者28名が入所となり、空床が多数発生しました。利用率は 70.5%と利用率は前年度を大きく下回る結果となりました。

(2) 特別養護老人ホームの併設施設であるという特徴により、将来的に特別養護老人ホームへの入所を見据えて利用開始する方を多く迎えました。また、ケアマネジャーと連携

し、特別養護老人ホーム入所までの安定的な生活支援を行うことができました。

(3) 新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の持ち込み防止(水際対策)に努め、個別ニーズに沿った利用の受入れを行いました。

3 サービスの実施状況

2月に法人内事業所の新型コロナウイルス感染者の発生に伴う応援職員派遣により、やむを得ず20名に対し、1カ月間の利用中止をお願いしました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	45	45	45	39	42	43	
利用率(%)	70.5	73.5	67.5	61.5	79.7	83.8	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計(平均)
利用者	47	48	44	41	40	40	524
利用率(%)	80.5	78.2	77.3	66.8	40.2	66.8	(70.5)

4 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るために併設の特別養護老人ホームと協働し委員会活動を実施しました。

5 利用状況実績表(過去5年分)

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均要介護度	2.80	2.75	2.75	3.30	3.30
利用者数(人)	423	462	556	452	374
利用延べ人数	5,881	5,894	6,713	6,612	5,162
1日平均利用者数	16.1	16.1	18.3	18.1	14.1
利用率(%)	80.6	80.7	91.7	90.6	70.5

【4 老人デイサービスセンター大洞岐協苑事業】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170100792

[概　要]

要介護状態等にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションの提供を柱として、必要な日常生活上の生活指導及び介護サービスを行いました。また、令和3年度の介護報酬改定により、個別機能訓練加算の算定要件が引き上げられたため、提供体制を整備し8 月より算定しました。

サービス提供については、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、感染対策(フェイスシールドの着用や、昼食時のグループ分けなど)を徹底し利用者と共に取り組んだ結果、コロナウイルス陽性者の発生なく1年を終えることができました。

1　重点目標

(1)　意欲が高まる充実したサービスを提供し、利用者満足度の向上と利用率85％目指します。

(2)　新規利用者を増やすため、体験利用の充実と拡大を図ります。

(3)　感染対策の徹底に努めます。

2　重点目標への取り組み

(1)　新型コロナウイルスの影響により、利用を全て中止する利用者はいませんでしたが、利用回数を減らす方が3名ありました。また2月には、法人内での新型コロナウイルス感染・クラスターが発生し、応援職員を派遣したため2月15日から2月26日までの12日間は、自立度の高い利用者10名に対し、利用自粛について相談し、サービス計画の変更をお願いしました。自粛をお願いした利用者には、体調確認を行い、ケアマネジャーと連携し対応しました。その結果、利用率は目標 85％を大きく下回り 68.7％となりました。

(2)　感染対策を徹底し、お試し利用を積極的に受け入れました。居宅介護支援事業所に対し、利用可能な曜日を案内し利用者を募りました。また、体験利用時は個別にじっくり関わることで、利用希望者の気持ちをしっかり聞き、安心できる事業所としてアピールしました。お試し利用者は年間17名、新規契約者は年間15名となりました。

(3)　発熱及び体調に不安のある方については、利用中止をお願いするなど「ウイルスを持ち込まない」水際対策の徹底を図りました。食事は、デイセンターのフロア、食堂、地域交流室の3か所に分散し、密にならない状態でパーテーション及び飛沫防止パネルを使用して行いました。また、送迎車内に飛沫防止のクリアシートを設置、利用者へのフェイスシールド着用のお願いなど感染対策の強化に努めました。

3　通所介護事業ならびに介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護相当サービス事業）の実施状況　　利用定員　30名

居宅介護支援事業所ならびに地域包括支援センターとの連携のもと、定員の充足を図るよう努めました。法人内事業所の新型コロナウイルス感染者の発生により、応援職員を派遣した2月については、やむを得ず利用自粛をお願いし、規模を縮小して実施しました。

新型コロナウイルス感染症による利用控えと自粛のお願い、入院・施設入所の影響を大きく受け利用率は 67.8％と前年度（74.3％）を下回りました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護事業	45	45	45	39	42	43	
総合事業	17	17	16	17	17	16	
利用率（%）	70.4	69.1	67.4	61.6	67.8	72.8	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	**計（平均）**
介護事業	47	48	44	41	40	40	**524**
総合事業	15	16	15	16	16	16	**194**
利用率（%）	73.2	71.0	67.1	66.9	63.5	63.3	**(67.8)**

4　基準緩和型デイサービス事業（事業対象者及び要支援を対象）

通所介護相当サービス事業の指定にかかる基準を緩和した基準（2時間を基準）により指定を受けていますが、事業への相談がなく実績はありませんでした。

5　会議等の開催状況

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、次の会議等を開催しました。

会議名	開催回数	備考
デイサービス会議	12回	
ドライバーミーティング	利用日ごと	

6 非常災害対策

火災、地震等の非常災害に備え、年2回の避難訓練を計画・実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
7月 7 日	地震及び火災を想定した訓練	28名	
10月13日	土砂災害等を想定した訓練	29名	夜間想定

7　利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均要介護度	1.34	1.40	1.40	1.50	1.30
利用延べ人数	8,141	8,081	7,678	6,876	6,268
利用者数（介護）	578	665	732	646	524
利用者数（支援）	378	291	218	204	194
1日平均利用者数	26.3	26.6	24.9	22.3	20.6

【5 大洞岐協苑訪問介護事業】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170101139号

[概　要]

要介護状態等となった高齢者が、住み慣れたまちでいつまでも暮らし続けるため、サービス提供責任者が作成する計画書に基づき、活動の内容や手順や留意点を確認し、身体介護や生活援助等生活全般にわたる援助をヘルパーが統一した方法にて実施しました。

新型コロナウイルス感染症については、利用者の健康確認に注意を払い、体調に不安のある方への訪問は中止または代替えをお願いするなど、「ウイルスの媒介者にならない」対策の徹底を図り、感染防止対策を施した上、サービスを提供しました。

1　重点目標

(1) 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携を強化し、新規相談や計画変更について柔軟な対応を行い、活動時間の増加を図ります。

(2) ヘルパー技術向上のため定期的に研修を実施、より質の高いサービスを提供します。

(3) 登録ヘルパーの獲得に努めます。

２　重点目標に対する取り組み

(1) 新規相談については、地域包括支援センターから10件、居宅介護支援事業所から13件の紹介を受け、新しく 1 事業所からの依頼も増えて、新規契約者は37名（要介護:20名、要支援及び事業対象者:17名）となりました。また、計画変更について柔軟な対応を行いましたが、月の訪問件数は平均 491 件（前年比 93%）と減少しました。

(2) ヘルパー会議で課題となったテーマや、より質の高いサービス提供のために研修を4回実施しました。

(3) 登録ヘルパーの採用に努めましたが新規登録はありませんでした。（令和 4 年3月末現在で2名）

３　訪問介護事業ならびに介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護相当サービス事業）の実施状況

令和4年2月には、訪問活動を経路とした感染により職員1名が陽性となりました。発覚する間に訪問した利用者2名が濃厚接触者となりましたが、感染の拡大はありませんでした。事業所を共にする職員は全員陰性でしたが、感染拡大防止に万全を期すため10日間のサービス中止を行いました。新規契約者は年間を通じて37名あり、月の訪問件数は平均 495 件と前年度（531 件）に比べ減少しました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護事業	37	37	37	37	41	41	
総合事業	48	36	48	47	45	42	
訪問件数	476	474	502	514	538	554	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	**計**
介護事業	40	45	41	38	40	36	**470**
総合事業	42	43	38	41	40	45	**525**
訪問件数	520	560	472	444	364	520	**5,938**

4 有償サービスの状況

介護保険サービスでは対応ができない病院付添いなどの要望について、年間延べ66件実施しました。

5 会議等の開催状況

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、次の会議等を開催しました。

(1) ヘルパー会議　年12回

免許証の確認、新規利用者情報の共有、変更事項、感染症予防について、その他連絡事項などを周知し、間違いや事故の無いように努めました。

(2) 研修

訪問介護員及び登録ヘルパーの資質の向上のため、年間計画に基づいて4回の研修を開催しました。非常事態宣言及び、まん延防止重点措置区域への指定期間中は文書による情報提供及び資料配布を行いました。

実施日	研修テーマ	備考
8月16日	熱中症予防について	参加　6名
11月 15日	感染症について、 記録の書き方	参加　6名
12月13日	「いつもと違う」を見逃さない。高齢者の冬の体調	参加　4名
1月19日	客観的で誰もが分かる訪問記録（資料配布）	資料配布

6　利用状況実績表（過去5年分）

項　　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均要介護度	1.4	1.2	1.5	1.3	1.1
利用延べ人数	4,849	4,939	6,167	6,270	5,853
利用者数（介護）	348	333	462	468	470
利用者数（支援）	427	457	532	543	531
1日平均利用者数	15.8	16.0	20.0	20.3	19.3

【6 グループホーム大洞岐協苑事業（定員9人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170102483号

[概　要]

認知症対応型共同生活介護は、要介護者であって認知症の状態にある者に対し、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう援助しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、外部との交流を自粛し、ホーム内での活動を充実させました。近隣病院でのクラスターや学校など地域においても感染者が多く、外出自粛をお願いする中で家族との交流が希薄となったため、生活状況を文書で送付するなど情報発信に努めました。

1　重点目標

(1) 利用者の主体性を活かし個別ケアの充実を図ります。

(2) 利用者の重度化に対応するため、医療連携体制の構築に努めます。

(3) 事故のないホームを目指し、安全で安心した生活が送れるよう支援します。

2　重点目標に対する取組み

(1) 介護計画（以下「ケアプラン」という。）には、利用者の嗜好や残存機能の維持を考慮し、ホーム内での歩行訓練や体操、洗濯物たたみや植物の水やりのお手伝いといった役割を持つ事をケアプランに位置づけました。

(2) 基礎疾患が悪化し医療依存度が高くなる利用者が増えており、受診時及び退院時の指示が適切に把握できないことが課題となったため、電話や文書を活用し主治医との連携を密に行いました。また、定期通院時には、身体・精神状況を踏まえた生活の様子について、主治医への情報提供を行い重度化予防及び健康管理に努めました。

(3) ヒヤリハット帳を活用し、年間32件のヒヤリハットについて振り返り、運営推進会議からの意見を再発防止策に取り入れるなど事故予防に努めました。その結果、骨折等の事故は発生しませんでしたが、令和3年6月、新規入居者が、4日目の明け方に行方不明となる事故が発生しました。無事に発見に至りましたが、利用者の行動観察や巡回のあり方など、関係職員で振り返りを行い再発防止に取り組みました。

事故件数は前年度と比べて6件増加しており、手の届く範囲での見守りの重要性が高まっているため、見守り体制の強化に努めました。

3 サービスの実施状況　定員 9 名

前年度と比べ入退所が多く、空床期間が発生したことにより、利用率は92．3%（R2:94．8%）と前年度を下回りました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在籍者	8	7	8	9	9	8	
新規入所	0	0	1	2	0	0	
退所	1	0	0	1	0	1	
利用率	83.7	77.8	84.4	88.5	95.3	90.7	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	**計(平均)**
在籍者	9	9	9	9	9	9	**103**
新規入所	1	1	0	0	0	0	**5**
退所	0	1	0	0	0	0	**4**
利用率	99.3	94.4	100	100	104.8	88.9	**(92.3)**

4 健康管理

新型コロナウイルス予防接種を、協力医療機関（河村病院）の協力により実施しました。また、流行期においては職員を対象とした月2回の PCR 検査（岐阜市主催）を実施しウイルスを持ち込み防止に努めました。

実施日	内容	人数	備考
5 月 12 日	新型コロナウイルス予防接種	7名	1 回目
6 月2日	新型コロナウイルス予防接種	7名	2 回目
2 月9日	新型コロナウイルス予防接種	6名	3 回目

5 自己評価及び外部評価

令和3年12月に認定評価機関である「NPO 法人ぎふ福祉サービス利用者センター　びーすけっと」による外部評価を受けました。

6 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、次の会議等を開催しました。

会議名	開催回数	備考
グループホーム会議	12回	

運営推進会議	6回	5、1、3月は書面会議

7 非常災害対策

火災、地震等の非常災害に備え、年2回の避難訓練を計画・実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
7月　7日	地震及び火災を想定した訓練	11 名	
10月 13日	土砂災害等を想定した訓練	12 名	夜間想定

8 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均年齢（歳）	87.2	87.1	88.4	88.1	**85.4**
平均要介護度	2.00	2.30	2.70	2.50	**2.44**
利用延べ人数	3,003	3,184	3,229	3,113	**3,031**
1日平均利用者数	8.3	8.7	8.8	8.5	**8.3**
利用率（%）	92.3	96.9	98.0	94.8	**92.3**

【7 在宅介護支援センター大洞岐協苑事業】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170100123号

[概　要]

指定居宅介護支援事業の適正な運営を確保するとともに、要介護等の認定を受けた高齢者等が住み慣れた地域で生活するために、利用者の希望や家族の意向を踏まえた居宅サービス計画を作成し、適切な介護サービスの提供が図れるよう努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問及びサービス担当者会議の開催が困難となる時期もありましたが、電話・文書により情報交換に努め、モニタリング不足とならないよう関係機関と連携し、利用者との信頼関係が失われないよう努めました。

1 重点目標

(1) 地域共生社会に向けたケアマネジメントを提供できるよう、地域包括支援センターや医療機関をはじめとする多職種との連携・協働に努めます。

(2) 常に利用者の自立支援を考え、その立場に立った質の高いケアマネジメントを提供できるように研修に参加し、支援者としてスキルアップに努めます。

2 重点目標に対する取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、多職種との連携会議等の中止が相次ぎましたが、ひまわりの会やほっとメイト会、また東部ケア会議等に積極的に参加することで情報交換に努め、連携向上を図りました。また、困難な事例については、地域包括支援センターをはじめ、生活福祉課・高齢福祉課・警察など関係する行政機関や、主治医・かかりつけ薬局と連携を図り、利用者の支援に努めました。

(2) 居宅会議を毎週1回開催し、利用者の情報や留意事項などを事業所内で共有し、適切なケアマネジメントが行えるよう努めました。また、地域包括が開催する会議やオンライ

ンで行われた福祉用具や住宅改修、また成年後見制度等の研修に参加し、支援者としてのスキルアップに努めました。

3 居宅介護支援事業（介護保険事業）ならびに介護予防支援事業（地域包括支援センターからの受託事業）の状況

ケアプラン件数は、新規契約が年間 50 件（介護：42、予防：8）ありましたが、入院等から在宅への復帰が難しくなり、施設系サービスを利用する方が増加したこともあり、月平均108 件（予防ケアプラン含む）と前年度と比較し減少しました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
居宅介護支援	88	86	86	87	90	95
介護予防支援	17	17	17	17	16	16
合計	105	103	103	104	106	111

項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
居宅介護支援	93	94	93	92	90	90	**1,084**
介護予防支援	16	19	19	20	20	18	**212**
合計	109	113	112	112	110	108	**1,296**

5 要介護認定調査（市町村からの受託事業　主に岐阜市）

介護保険の更新認定及び区分変更に必要な訪問調査を受託し、訪問調査後すみやかに調査票を作成しました。前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症による特例措置である合算対応が少なくなり、依頼件数が回復したため年間 318 件の実績となりました。

6 介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ

令和3年度は介護支援専門員実務研修にかかる岐阜県指定研修機関から要請はなく、介護支援専門員実務研修見学受講者の受け入れはありませんでした。

7 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、次の会議等を開催しました。

(1) 毎週開催　居宅会議にて困難ケース等についてケアマネジャー間で共有しました。

(2) 研修　オンラインにて開催される資質向上研修及び苑内研修に積極的に参加しました。

8 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均要介護度	1.71	1.96	1.98	1.96	**1.84**
総プラン数	1,518	1,465	1,321	1,335	**1,296**
プラン数（介護）	1,183	1,252	1,104	1,104	**1,084**
プラン数（予防）	335	213	217	231	**212**
月あたり件数	126.5	122.2	110.0	111.3	**108.0**
認定調査総数	293	405	380	134	**318**

【8 ケアハウス大洞岐協苑事業（定員20人）】

[概　要]

軽費老人ホームケアハウスは、身体機能の低下等が認められ、又は高齢のため独立して生活するには不安が認められる高齢者等に対し、安心して生活を送ることが出来る住環境を整えました。また、栄養バランスのとれた食事の提供、生活相談の充実、病院受診時の送迎など職員間の連携体制を確立し、処遇に万全を期するよう努めました。

特に新型コロナウイルス感染症予防に注力し、ウイルスを持ち込まないため職員及び入居者の健康管理の徹底を図りました。感染予防対策として外出の自粛や家族・友人との面会及び、食事を共にする機会への参加自粛について呼びかけました。また、同様に家族への啓発・情報発信に努めました。

1 重点目標

(1) 地域包括・居宅介護サービス・診療所・薬局等と連携を図り利用者が安心した生活ができるようサービス提供につなげます。

(2) 感染予防対策をはじめ利用者が安全で快適な生活ができるよう環境整備に努めます。

2 重点目標に対する取り組み

(1) 入居者には要介護状態の方も11名（令和4年3月末時点）と多く、健康状態を把握するとともに医療機関及び居宅介護支援事業所、地域包括支援センターや薬局等との連携に努めました。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、共有スペースの消毒、利用者への手洗い・うがい・マスク着用・ソーシャルディスタンス等についての声掛けを積極的に行いました。また、食堂においてはクリアパネルを設置し飛沫による感染防止に努めました。

入居者懇談会は、「まん延防止等」宣言期間においては中止し、新型コロナウイルスについてのプリントを配布するなど感染予防意識の向上に努めました。

3 サービスの実施状況

令和3年度は4名の退居がありましたが、速やかに入居案内を実施し、4名の新規入居者を迎えることが出来ました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在籍者	20	19	19	20	19	20
新規入所	0	0	0	1	1	0
退所	1	0	0	1	0	0

項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計（平均）
在籍者	20	19	20	20	20	20	(19.6)
新規入所	0	0	1	0	0	1	4
退所	0	1	0	0	0	1	4

4 健康管理

新型コロナウイルス予防接種を、協力医療機関（河村病院）の協力により実施しました。

また、流行期においては職員を対象とした月2回の PCR 検査（岐阜市主催）を実施し、ウイルスを持ち込み防止に努めました。

実施日	内容	人数	備考
5 月 12 日	新型コロナウイルス予防接種	16名	1 回目
6 月2日	新型コロナウイルス予防接種	16名	2 回目
2 月9日	新型コロナウイルス予防接種	16名	3 回目

5 会議等

入居者同士の交流の場及び施設との意見交換の場として懇談会を開催しました。

会議名	開催回数	備考
ケアハウス懇談会	7回	

6 非常災害対策

火災、地震等の非常災害に備え、年2回の避難訓練を計画・実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
7月7日	地震及び火災を想定した訓練	16名	
10月13日	土砂災害等を想定した訓練	8名	夜間想定

7 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均年齢(歳)	86.4	87.9	86.3	86.0	**88.3**
平均要介護度	0.83	0.90	1.10	1.30	**0.73**
延べ在籍者数	237	240	240	234	**236**
入居率（%）	98.8	100	100	97.5	**98.3**

【9 地域密着型特別養護老人ホーム第2大洞岐協苑事業（定員29人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2190104253号

[概　要]

岐協福祉会の「第3の施設」として、令和3年4月1日に地域密着型特別養護老人ホームの開設許可及び介護保険事業所の指定を受け、新規事業がスタートしました。

令和3年4月9日から12日かけて開催した内覧会では4日間で129名の参加があり、地域住民及び関係者の第2大洞岐協苑への関心の高さと期待が感じられました。4月14日には竣工式を開催し、岐阜市東部4地域の自治会連合会長をはじめ関係者19名のご臨席を賜りました。

入所に関しては、4月15日に最初の入居者を迎え、9月30日には定員29名が満床となりました。年間の新規入居者は35名、長期入院等による退居者は8名ありました。感染症対策及び健康管理の徹底により、利用率は76．3%と当初の目標 70%を上回る結果が残せました。

コロナ禍が続く一年となりましたが、入所者の意向とプライバシーを尊重し、心身ともに穏や

かな生活を送ることができるよう、コロナ禍の中でできる余暇活動等を実施し、感染対策に留意したサービスの提供と家族等への情報発信に努めました。

1 重点目標

(1) 入居者一人ひとりの暮らしの継続を大切に考えたケアを提供します。

(2) 多様な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、施設全体のケアの標準化を図ります。

(3) 段階的に新規入居者を迎え、半期で3つのユニットが満床となるよう努めます。
また、年間利用率70%を目指します。

2 重点目標に対する取組み

(1) 入居者及び家族から入所前の生活歴等を詳しくヒアリングし、初回のケアプラン作成に反映させました。また、入居者及び家族の意向に沿ったケアプランの立案に留意しました。心身ともに穏やかな生活を送ることができるよう、コロナ禍の中でできる余暇活動等を実施し、感染対策に留意したサービスの提供と家族等への情報発信に努めました。

(2) 月1回開催するユニットリーダー会議にて課題を抽出し、リーダーが中心となって課題解決へ取り組みました。交代勤務による情報伝達不足に陥らないよう、ケース記録の充実に注力し、記録の ICT 化によりリアルタイムで更新される入居者情報を確認し、ケアにあたりました。また、申し送りノートも併用し情報共有に努めました。

(3) 月に1回開催する入所判定委員会により整備される待機者名簿に基づき、速やかに入居を案内し、9月30日には定員29名が満床となりました。年間の新規入居者は35名、長期入院等による退居者は8名でした。感染症対策及び健康管理を徹底し、発熱等に早期対応したなどの理由により、入院者が少なく(1日あたり1．1人、年間延べ401人)、利用率は76．3%と当初の目標 70%を上回りました。

3 サービスの実施状況

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在籍者	8	13	18	22	23	29	
新規入所	8	5	5	5	2	6	
退所	0	0	0	1	1	0	
利用率(%)	20.7	36.7	54.8	67.0	72.4	77.8	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計(平均)
在籍者	28	28	29	29	28	27	(23.5)
新規入所	0	1	2	1	0	0	35
退所	1	1	1	1	1	1	8
利用率(%)	91.9	94.0	95.4	97.4	90.0	92.1	(76.3)

4 行事活動の状況

新型コロナウイルス感染予防対策により、家族及び地域の方と交流する行事やボランティアを迎えての行事は開催できませんでしたが、コロナ禍でも入居者の生活が少しでも楽しく豊かなものとなるようユニットごとに行事を実施しました。

実施日	行事名	参加者数	備　考
7月　7日	七夕会	18名	ユニット合同
7月29日	鰻の蒲焼きイベント	21名	オンライン中継
8月18日	夏祭り	21名	かき氷、スイカ割り、花火
9月20日	敬老会	22名	節目の方3名
10月19日	秋の味覚バイキング	26名	デモクック
10月20、21、22日	運動会	26名	総合優勝は「さくら」
11月10、11、12日	文化祭の作品作り	17名	習字
11月15、18日	紅葉ドライブ	6名	百年公園、もみじ谷
12月20、21、22日	クリスマス忘年会	28名	プレゼントは靴下
1月6、7、11日	お正月遊び	24名	「福笑い」「書初め」
2月3日	節分祭	28名	
3月3日	ひな祭り会	24名	
入居者の誕生日ごと	誕生日会	19名	お祝いカードとお花を贈呈

〈バイキングの献立内容〉

4 月：にぎり寿司、6 月：朴葉寿司、10 月：五平餅・みたらし団子、さんま、3 月：にぎり寿司

〈イベント食〉　　7 月：鰻の炭火焼き、11 月：ブリの解体ショー、刺身、12 月：海鮮丼

5 健康管理

入居者の感染予防対策として、新型コロナウイルス予防接種を本部施設と連携し、協力医療機関（河村病院）の協力により実施しました。また、流行期においては職員を対象とした月2回の PCR 検査（岐阜市主催）を実施し、ウイルスの持ち込み防止に努めました。

実施日	内容	人数	備考
5 月 12 日	新型コロナウイルス予防接種	15 名	1 回目
6 月 2 日	新型コロナウイルス予防接種	15 名	2 回目
11 月 24 日	インフルエンザ予防接種	26 名	
2 月 9 日	新型コロナウイルス予防接種	27 名	3 回目

6 研修

介護職員等の資質の向上を図るため、必要な研修を計画し実施しました。なお、「まん延防止」等の対策強化期間はオンラインのみの開催とし、自宅からでも参加ができる研修体制を整えました。やむをえず不参加の職員に対しては、研修動画の配信等を行いました。

(1) 苑内研修及びスキルアップ研修

実施月	研修テーマ	参加者
4月 6、7、8日	新人職員研修	8名
4月 28 日	苑内研修「岐協福祉会の理念」「介護保険法改正」	12名

6月 30 日	苑内研修「事故防止」・「感染予防」	11名
6月 28 日、7月 27 日	介護職員スキルアップ研修「接遇」	12名
8月 23 日、9月 27 日	介護職員スキルアップ研修「接遇Ⅱ」	10名
10月6日	苑内研修「身体拘束防止・高齢者虐待防止」	7名
10月 27 日	苑内研修「感染予防」「事故事例検討」	3名
10 月 25 日・11 月 22 日	介護職員スキルアップ研修「介護過程とICF」	11名
11月 24 日	苑内研修「看取り介護」	4名
1月 24 日・3月 9 日	介護職員スキルアップ研修「認知症ケア」	9名
2月 28 日・3月 28 日	介護職員スキルアップ研修「ボディメカニクス」	7名
3月 30 日	苑内研修「高齢者虐待防止・身体拘束防止」「看取り」	4名

(2) 外部研修　参加者 15 名

令和3年度から義務付けられた安全対策担当者研修及び BCP(事業継続計画)作成研修をはじめ、不適切ケア、虐待防止研修会など、介護の資質向上につながる内容の外部研修(オンラインが主流)に参加しました。

7 非常災害対策

入居者の安全を図るため、避難救出訓練を年4回計画し実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
7 月 6 日	地震及び火災を想定した訓練	8 名	夜間想定
7 月 7 日	地震及び火災を想定した訓練	7 名	夜間想定
7 月 8 日	地震及び火災を想定した訓練	8 名	夜間想定
12 月 6 日	土砂災害等を想定した訓練	28 名	運営推進会議委員も参加

8 会議等の開催状況

職員間の連携向上、さらには介護の質向上を目的とした会議及び委員会を新型コロナウイルス感染症予防対策に留意して行いました。

会議名	開催回数	備考
ユニットリーダー会議	11回	
給食委員会	11回	
入所検討委員会	13回	
事故・感染症予防委員会	8回	
身体拘束・虐待防止委員会	5回	
運営推進会議	4回	2月は書面会議
安全対策部門	2回	10 月、3 月

9 ボランティア等の活動状況

新型コロナウイルス感染症対応により、1年を通じてボランティアの受け入れは中止させていただきました。

10 地域交流室ポローニアの利用状況

地域団体及び福祉関係者（3団体）から使用申請があり、年間10回の利用がありました。

11 利用状況実績表

項　目	R3
平均年齢（歳）	87.4
平均要介護度	3.62
利用延べ人数	7,770
1日平均利用者数	22.1
利用率（%）	76.3

【10 岐阜市地域包括支援センター東部事業】

[概　要]

地域の高齢者が、住み慣れた街で安心して生活が送れるよう、地域・医療・福祉をつなぐ相談機関として多機関と連携し、さまざまな相談に応じてまいりました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点から、計画した多くの会議や取り組みが中止や変更となりましたが、地域包括ケアシステムの構築に向けて、様々な機関と連携し地域課題への取り組みを行いました。

1 地域に密着したセンターとしての取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大予防に留意し、開催方法を工夫して活動しました。

（1） 地域包括支援センターの活動をより多くの方に知ってもらうための広報誌「のんびり通信」を年4回（6月・8月・10月・2月）発行しました。感染症予防、認知症についての情報発信、高齢者の方に知っておいてほしい制度などを紹介しました。

（2） 芥見東地域の3世代交流センター「みどりっこハウス」は、「まん延防止等」宣言の解除に合わせて開催され、第1・3週の水曜日に福祉総合相談の窓口を開設しました。

（3） フレイル予防専門職チーム会議は、集合とオンラインを併用し年6回開催しました。10 月に行ったフレイル予防教室は、3つの公民館（芥見・芥見東・岩）をオンラインでつなぎ、3か所同時開催をしました。自粛生活をする中でフレイル予防に役立てたいと専門職チームでチラシを作成し、年3回地域へ回覧しました。

（4） 地域サロンについては、地域からの依頼を受けて年6回参加しました。地域包括支援センターの周知活動とともに、講話・体操と、自粛による筋力低下の予防、認知症予防の啓発に努めました。

（5） 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務において、地域の介護支援専門員への介護予防・自立支援の認識を深め、互いに協力し支え合う体制づくりのため、居宅連絡会を 2 回開催しました。また、地域ケア個別会議を開催することで地域課題を整理・分析し、解決に向けた取り組みを行いました。

2 認知症高齢者に対する取り組み

(1) 心をつなぐほっとメイト会の活動

地域包括支援センターが中心となり、福祉専門職の有志で構成される「ほっとメイト会」は、認知症になっても住み慣れた地域づくりを目指して、毎月第4金曜日に定期連絡会議を行いました。オンラインも活用しながら年10回開催し、以下の活動を実施しました。

① 認知症の理解を深める取り組み

幅広い世代に向けた啓発活動について、感染症拡大予防に留意し開催しました。

・「岐阜市認知症高齢者等見守り事業」説明会　1箇所

・サポーター養成講座地域向け　1箇所

② 認知症カフェの開催

開催計画を立てていましたが、感染症拡大予防のためすべて中止となりました。

③ 認知症サポーター養成講座

幅広い世代への働きかけとして中学校、高校で計3回実施し、延べ 84 名のサポーターが生まれました。

④ 東部認知症サポーターステップアップ研修

認知症サポーター養成講座を受講した方を対象に、ステップアップ研修を計画しましたが、感染症拡大予防のため、対象者を民生委員に変更し「認知症ケアパス」(オレンジガイド)を用いた勉強会を開催しました。

⑤ メイト会員の支援

地域で活動する会員同士の繋がりや情報共有のために「メイト会報」を年2回(7月、12月)発行しました。

(2) 見守り体制構築「ネットワーク会議」の開催

開催計画を立てましたが、感染症拡大予防のためすべて中止となりました。

3 介護予防・日常生活支援総合事業

生活機能の低下がみられる高齢者に対して、岐阜市が主催する教室への参加を促し、ケアプランを作成、介護予防に努めました。また、要支援認定者や事業対象者においては、介護予防ケアマネジメント事業として自立に向けたケアプランの作成と委託ケアプランの確認を行いました。

おいしく食べよう教室	まめかな訪問事業	短期集中型デイサービス	住民主体型デイサービス
19件	1件	0件	15件

4 介護予防支援事業(介護保険指定　岐阜市指定　第2100100185号)

指定介護予防支援事業の適正な運営を確保し、高齢者の尊厳ある生活の継続や安定のため、介護保険サービスや市町村が実施する介護予防・日常生活支援総合事業の活用、その他、家庭内で行える運動や感染症予防に留意して行う屋外活動、電話やメールなどを活用した家族、友人との関わりなども提案し、在宅生活の維持に努めました。

また、東部地域に事業所のある7箇所の居宅支援事業所及びその他地域にある19箇所の居宅支援事業所（計26事業所）と業務委託契約を結び、月当たり約180件の予防ケアプラン業務を委託しました。受託事業所とは連携を密にし、利用者の自立につながる介護予防ケアプランの作成に努めました。

5 岐阜市日常生活圏域協議体事業

地域団体の代表者、介護・福祉関係者と共に、年5回開催しました。前年度に引き続き「高齢者の集まれる場所」の開催について、新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら支援をしました。

6 利用状況実績表

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
相談件数	663	742	769	738	**823**
総プラン数	4,411	4,579	4,362	4,591	**4,734**
プラン数（包括）	2,430	2,168	1,917	2,301	**2,594**
プラン数（委託）	1,981	2,411	2,445	2,290	**2,140**
委託事業所数	221	226	235	290	**302**

【11 岐阜市中ブロック機能強化型地域包括支援センター事業】

[概 要]

岐阜市内の中ブロックに属する地域包括支援センター中央北・中央西・白梅華・島城西・清流・長森・長森南・東部の8か所（以下、「センター」という。）において、多問題を抱える支援困難ケースの増加に伴う、センターの対応力の向上、関係機関との連携や地域課題への取り組みなど、センター業務の円滑な実施を支援し地域包括ケアシステムの構築及び深化・推進を支援しました

1 取り組みの内容

(1) 困難事例等への支援

高齢者本人及び家庭に多問題を抱える事例、認知症や虐待事例、セルフネグレクト事例、権利擁護を必要とする事例といった困難事例等への支援を行いました。

① 対応方法の相談、情報提供や同行支援及び事例検討会や地域ケア個別会議の事前協議と会議への参加及びアドバイス。

② 対応方法、課題共有などについての連携会議の開催（年 7 回）。

③ 対応力向上を目的とした地域包括支援センター職員研修を開催（年 3 回）。

相談実績	訪　問	電話・他	合　計
実件数	7	48	**55**
延べ件数	9	85	**94**

(2) 認知症地域支援推進員の活動

センターの認知症地域支援推進員との連絡会を年４回開催し、推進員としての取り組

みや活動状況の共有、認知症初期集中支援チームとの連携強化など、認知症施策の推進に向けて支援しました。また、中ブロックの取り組みとして、オンラインによる認知症サポーター養成講座の教材を作成しました。岐阜市の認知症カフェの情報や、若年性認知症の話題などを盛り込み、身近に感じられるよう意識しました。さらに、実際に作成した教材を認知症サポーター養成講座にて使用しました。

(3) 専門職会議への参加

感染症予防のため、ブロックごとの開催となりました。

会議名	参加回数
主任ケアマネジャー会	3回
社会福祉士会	3回
看護師・保健師会	3回

(4) 連携向上のための打合せ会の開催

会議名	開催回数
岐阜市高齢福祉課との打ち合わせ会	16回
中・北・南ブロック機能強化型地域包括支援センター連絡会	10回
中ブロック連絡会	2回

2 実績内訳

(1) 各センターからの困難事例相談件数

項　目	R1	R2	**R3**
訪問　延べ件数	30	22	**9**
電話・他延べ件数	94	117	**85**
合計件数	124	139	**94**

(2) 各センターからの会議参加依頼

項　目	R1	R2	**R3**
事例検討会	23	12	**5**
地域ケア会議	10	6	**26**
その他の会議 (　)は協議体	30(4)	30(3)	**79(8)**
合計件数	63	48	**110**

(3) 地域づくり(課題、支援方法、会議運営)などの相談があった件数

項　目	R1	R2	**R3**
相談件数	158	166	**106**

(4) 機能強化型地域包括支援センターから必要を感じて支援した件数

項　目	R1	R2	R3
相談件数	54	51	**59**

【12 介護付有料老人ホーム日野岐協苑事業（定員29人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2190100186号

[概　要]

岐阜のシンボルである岐阜城を仰ぎ見る長良川の畔にある極めて良好な環境にて、入居者には安心と安らぎのある家庭的な暮らしが提供できるよう日常生活の支援に努めました。また、入居者及び家族の意向を尊重したケアを実施し、日々の介護はもとより機能訓練・医療連携体制・看取り介護などの要望に応えました。

新型コロナウイルス感染症については、感染予防対策の徹底を継続してきましたが、令和4年1月25日、職員の新型コロナウイルス陽性が判明し、短期間で入居者・職員に感染が拡大しました。有料老人ホームで抑え込めず、併設のショートステイ事業所にも感染が拡大し、利用者25名（有料老人ホーム入居者：16名）職員27名が陽性となりました。保健所の指示の下、法人内の応援職員14名の協力を得て、2月25日にクラスターの終息を迎えることができました。

1 重点目標

(1) 満床の状態を保つことができるよう、入居希望者との連絡調整、入居案内を迅速かつ丁寧に行います。

(2) 職員の職場定着率の向上を図ります。

(3) 利用者の医療ニーズを捉え、終末期から看取り介護への連携を深めます。

2 重点目標への取り組み

(1) 満床状態を保つことができるよう関係各所との連絡調整を行い、入居案内をスピーディーかつ丁寧に対応しました。しかし、1月から2月にかけて発生した新型コロナウイルスクラスターの影響により、入院から退居となった方が6名（3名は死亡）ありました。

(2) 退職者は 5 名ありましたが、前年度に比べ職員の離職率改善を図ることができました。今後も維持できるよう職員に頻回な声掛けを継続していきます。

(3) 利用者の医療ニーズをとらえ看取り介護（対象者4名）への連携を深めることができました。

3 サービスの実施状況

新規利用者は7名あり、看取り介護4名を含む退所者は11名でした。利用率は90．6％と前年度を大きく下回りました。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在籍者	28	28	28	26	29	29	
新規入所	1	0	1	1	1	1	
退所	1	0	1	0	1	0	
利用率（%）	93.0	92.8	90.1	89.7	86.4	94.7	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	**計（平均）**
在籍者	29	29	29	29	28	23	**(25.5)**
新規入所	1	0	0	0	0	1	**7**

退所	1	0	0	1	4	2	11
利用率(%)	97.0	100	98.0	96.3	72.3	75.3	(90.6)

4 行事活動の状況

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家族や地域の方との接触がある行事や外出、ソーシャルディスタンスが保てないボランティアを迎えての行事は開催を中止としました。

実施日	主な行事名	参加者	備　考
4月 1、2、3 日	花見	29 名	苑庭の薄墨桜観賞
7月 7 日	七夕	29 名	笹に短冊を飾り付け
7月29日	鰻の蒲焼実演	16 名	デモクック
9月1日	夏祭り	23 名	
9月20日	敬老会	23 名	
10月7、12日	運動会	25 名	
11月9日	秋祭り	26 名	
12月23日	クリスマス会	26 名	
1月13日	季節のおやつを楽しむ会	25 名	お汁粉
1月20日	握り寿司実演	17 名	デモクック

＜イベント食・行事食実施状況＞

新型コロナウイルスの影響により、8 月の流しそうめん、10 月秋祭り、2 月ケーキバイキングは中止となっています。

5 月:朴葉寿司、行楽弁当　6 月:ステーキランチ　7 月:鰻の蒲焼デモクック

9 月:敬老御膳　12 月:クリスマスランチ　1 月:手作りおせち、握り寿司イベント

3 月:寄せ鍋

5 健康管理

入居者の感染予防対策として、新型コロナウイルス予防接種を協力医療機関(山田メディカルクリニック)と連携し実施しました。また、流行期においては職員を対象とした月2回の PCR 検査(岐阜市主催)を実施し、ウイルスの持ち込み防止に努めました。

実施日	内容	人数	備考
5 月 18、25 日	新型コロナウイルス予防接種	26名	1 回目
6 月 7 日	健康診断	24名	胸部 X 線など
6 月 8、15 日	新型コロナウイルス予防接種	25名	2 回目
11 月 25、30、	インフルエンザ予防接種	29名	
3月 8、15 日	新型コロナウイルス予防接種	20名	3 回目

6 看取り介護の実施　4 名

入居者が人生の終焉を迎えた時に、ご本人及びご家族等の意向を尊重したケアを実施

することで安らげる生活の場を提供し、自然な状態のままで残された余命を平穏に過していただく看取り介護を4名の入居者に行いました。

7 研修

職員の資質の向上を図るため、法人内の事業所と共同して苑内研修及びスキルアップ研修を計画し実施しました。なお、「まん延防止」等の対策強化期間はオンラインのみの開催とし、自宅からでも参加ができる研修体制を整えました。また苑外研修（主にオンライン研修）には参加を予定していましたが、勤務シフト上派遣が難しく、受講者はありませんでした。

(1) 苑内研修は、法人の理念、感染症及び食中毒の蔓延防止　、事故発生の防止　、身体拘束について　、虐待防止　、看取り、をテーマに実施しました。

(2) スキルアップ研修　介護職員の技術向上を目的に、接遇Ⅰ、接遇Ⅱ、介護過程とICF、認知症ケア、ボディメカニクスをテーマに、介護職員全員が受講できるよう同じテーマを2回開催しました。

8 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、また、入居者の希望等を聴取するため次の会議を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、集まることができないときには、書面会議として行いました。

会議名	開催回数	備考
職員会議	1回	
給食委員会	11回	
リーダー会議	12回	
介護力向上委員会	12回	
事故・感染・身体拘束委員会	12回	
行事委員会	12回	
運営推進会議	5回	5・9・1月は書面会議
入居者懇談会	4回	
防災会議	2回	

9 非常災害対策

入居者の安全を図るため、避難救出訓練を年2回実施しました。

実施日	内容	参加者数	備考
9月14日	地震及び火災を想定した訓練	37名	
3月31日	地震及び火災を想定した訓練	42名	夜間想定

10 空床の活用

有料老人ホームの短期利用への相談はありませんでした。

11 ボランティア活動来苑者（順不同・敬称略）

令和3年度は、新型コロナウイルス防止対策のため、声を出すものやソーシャルディスタ

ンスができないボランティアを迎えての行事は開催できず、中止としました

団体・個人名	活動内容	開催月
日野日赤奉仕団	絵手紙	4・8 月
コスモス会	アレンジフラワー	8 月

12 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	R3
平均年齢	89.5	88.8	90.0	91.6	**91.6**
平均要介護度	3.62	3.40	3.16	3.22	**3.30**
利用延べ人数	10,385	10,181	8,677	9,799	**9,587**
1日平均利用者	28.5	27.9	23.7	26.8	**26.3**
利用率%	98.1	96.2	81.8	92.6	**90.6**

【13 日野岐協苑短期入所生活介護事業（定員20人）】

介護保険指定　岐阜市指定　第2170105074号

[概　要]

多様なニーズに対応するため家族及び居宅介護支援事業所と連携を深め、利用者の在宅生活の維持に貢献しました。安全かつ快適に施設を利用していただくために利用者本位の生活づくりを目指し、施設において日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、高齢者の心身の機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めました。

新型コロナウイルスについては、利用時の体温・体調の確認、送迎時の消毒、換気など徹底した感染対策を継続していました。しかし、令和4年1月25日、併設する介護付有料老人ホーム職員の新型コロナウイルス陽性が判明し、入居者・職員に感染が拡大しました。クラスターは有料老人ホームのみで抑え込めず、当事業所にも拡大し、利用者9名が陽性となりました。保健所の指示の下、法人内の応援職員の協力を得て2月25日に終息を迎えました。

1 重点目標

(1) ケアを熟知した職員を多く育成し、人員の安定化を図る。

(2) 年間平均利用率 88.1 パーセントを目指します。

(3) 利用者、家族のニーズを充足する為に、関係各所との医療的連携を深めます。

2 重点目標に対する取り組み

(1) 新人職員の教育に注力しました。指導職員が 1 週間ごとの指導計画を作成し、それに沿って育成しました。また、新人日誌のやり取りにより悩みなどを抱え込まないよう努めた結果、新規職員6名（異動2名を含む）すべてが定着し、人員の安定化に繋がりました。

(2) 新規相談には積極的に対応しましたが、2月に発生した新型コロナウイルス感染症クラスターにより、受け入れを1か月間中止した影響により、年間利用率81．8%と目標には達しませんでした。

(3) 関係各所と医療連携を図り、利用者・家族のニーズに応えることができました。

3 サービスの実施状況

2月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため利用者の受入れを全て中止いたしました。中止に伴い、利用者・家族・関係者に多大な迷惑をかけることとなりました。3月からは感染防止対策のさらなる徹底を図り、受け入れを再開しました。

令和3年度の新規契約者は47名（前年比104％）、利用率は81．8％でした。

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	43	39	37	43	48	40	
利用率(%)	88.5	86.0	90.5	81.0	92.1	87.2	
項　目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	**計(平均)**
利用者	38	43	40	42	11	39	**463**
利用率(%)	91.1	91.5	81.1	78.7	42.5	55.6	**81.8**

4 健康管理

感染症対策に取り組み、入所前の検温や体調確認の徹底に努め、必要に応じケアマネジャー・主治医又は嘱託医との連携を図るなど健康管理に注力しました。

5 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図る為に併設の有料老人ホームと協働し委員会活動を実施しました。

6 利用状況実績表（過去5年分）

項　目	H29	H30	R1	R2	**R3**
平均要介護度	2.39	2.70	2.63	2.68	**3.10**
利用者数	560	570	514	511	**463**
利用延べ人数	5,963	6,586	5,976	6,447	**5,975**
1日平均利用者	16.3	18.0	16.4	17.6	**16.4**
利用率%	81.7	90.0	81.8	88.3	**81.8**